

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてください。

<http://www.tepco.co.jp/kk-np/data/inside/pdf/image1.pdf>

2016年4月20日に不適合管理会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、不適合管理会議で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 8件

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	1号機	原子炉建屋排風機出口サンプリングポンプの振動が通常より大きく、吐出圧力も変動を繰り返していることを確認した。当該ポンプを点検・修理。	
2	2号機	換気空調補機非常用冷却水ポンプ(A)ケーシングドレン弁にシートパスを確認した。当該弁を点検・修理。	
3	4号機	電解鉄イオン注入設備において、原子炉補機冷却海水系(A)および(B)への注入配管が詰まり気味であることを確認した。当該配管を点検・清掃。	
4	4号機	換気空調系主排気ダクト(屋外)表面部に腐食を確認した。当該部を点検・修理。	
5	4号機	低電導度廃液収集ポンプ(B)出口逆止弁に動作不良を確認した。当該弁を点検・修理。	
6	6号機	原子炉格納容器内高電導度廃液系排水槽水位計スイッチに動作不良を確認した。当該スイッチを点検・修理。	
7	その他	荒浜側ろ過水タンク入口電動弁の点検時、小容量電源盤にある当該弁保護継電器の設定値が誤っていることを確認した。当該事象の原因を調査し修理。	
8	その他	固体廃棄物処理建屋において、廃棄物充填固化用セメントの受入確認時、重量が受入基準値を逸脱していることを確認した。当該事象の原因を調査。	